

平成29年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

法文学部 人間科学科 人間行動専攻課程・社会学専攻課程

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章は、人間と自然との関わりについて論じた日高敏隆氏のエッセイの一部です。この文章の趣旨を踏まえた上で、持続可能な社会の構築に向けた、人間と自然との関わり方について、具体的な例をあげながら、あなたの考えを 1,000 字以上、1,200 字以内で述べなさい。

非公開

非公開

(日高敏隆, 『世界を, こんなふうに見てごらん』, 集英社, 2010年, 60~64ページ,
抜粋・一部改変)

平成29年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

法文学部 人間科学科 人間行動専攻課程・社会学専攻課程

出題の意図

人間科学科では、人間は何のために生き、どのような社会をどのように築き、そしてどこに向かおうとしていくのか、その根源的な問いを考えていくことを目標としている。人間科学科の人間行動専攻課程および社会学専攻課程がアドミッション・ポリシーで求めている諸能力のうち、特に理解力、考察力、論理的思考力、記述力等を総合的に小論文によって判断する。

この資料では、自然に対し人間はどう関わっていけばよいのかということについて論じられている。ここでは人間による自然への影響と、その前提となる人間観について、著者なりの見解が示されているが、人間観や人間と自然との影響関係、持続可能な社会の構築に向けたアプローチは多様である。環境問題を題材に、解決すべき問題に対する複眼的な視点と問題抽出能力、さらに解決的アプローチに向けた論理的思考力、発想力等を問う課題となっている。本文の趣旨を踏まえた上で、具体例をあげながら、論理的・批判的に論述できる能力が求められる。